



エゾシカの生態と被害について

北海道立総合研究機構
エネルギー・環境・地質研究所
自然環境部 生物多様性保全G

亀井 利活

① エゾシカの生態

エゾシカ (*Cervus nippon yesoensis*)

- ⇒ ・ 日本に生息するニホンジカの6亜種の1種
・ 形態的に異なるが遺伝的には同じ

ニホンジカの6亜種って？

- ・ エゾシカ（北海道）
- ・ ホンシュウジカ（本州・対馬）
- ・ キュウシュウジカ（九州・四国）
- ・ マゲジカ（鹿児島県・馬毛島）
- ・ ヤクシカ（鹿児島県・屋久島）
- ・ ケラマジカ（沖縄県・慶良間諸島）

エゾシカの生態≫エゾシカの体サイズ



成獣メス



成獣オス

- ・ニホンジカの亜種で最大の体重を持つ
- ・成獣オス 100～150kg（ホンシュウジカ：50－130kg）
- ・成獣メス 70～100kg（ホンシュウジカ：25－80kg）
- ・体重は **10月に最大、4月に最小（摂食量も変化）**

エゾシカの生態≫エゾシカの角

秋～冬



枯れ角
(1kg/本)



春～夏



袋角

春



落角



- ・オスのみ生える
 - ・毎年生え替わる（3月以降に落角）
 - ・成獣は通常三叉四尖（1歳は1本角）
 - ・袋角は海外では「鹿茸」として活用
- ⇒オスにとって繁殖に重要な部位



1本角

エゾシカの生態≫エゾシカの毛皮

春～夏



(メス)

秋～冬



(メス)



(オス)

春～夏

- ⇒ ・ 成獣も幼獣も
雌雄共に**鹿の子模様**
- ・ 栄養状態が悪いと
換毛が遅延

秋～春

- ⇒ ・ 雌雄共に茶褐色
- ・ 成獣雄は**首回りが黒い**

エゾシカの生態≫エゾシカの年齢

Q1. このシカは何歳？



A.0歳（5月～6月生まれ）

Q2. このシカは何歳？



A.2歳以上



A.2歳以上



A.1歳

成獣では、見た目や角からは正確な年齢は判別不能
⇒ 歯の萌出パターンや歯の年輪で判定

エゾシカの生態≫エゾシカの1年

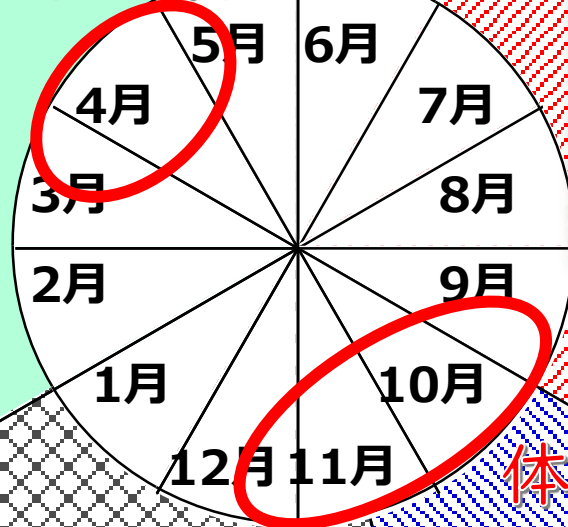
越冬期



季節移動

(冬の行動圏⇒夏の行動圏)

体重最小



出産／授乳期



季節移動

(夏の行動圏⇒冬の行動圏)

体重最大

交尾期



エゾシカの生態≫エゾシカの繁殖と死亡

〔繁殖〕

- ・ 1歳（産まれた翌年）の秋には繁殖可能
- ・ 1歳以上のメスの妊娠率は90%以上
- ・ 年に1度の出産で基本的に1頭
- ・ オスはハーレムを形成
- ・ 秋（9月－11月）に交尾し、春（5月－6月）に出産

捕獲等が無い場合、4年で2倍!!（年率16～20%）

〔死亡〕

- ・ 0歳の死亡率は約50%
- ・ 3～4歳で捕獲される個体が多い（最長で20歳程度）
- ・ 主な死亡要因は狩猟や駆除（成獣の死亡率約20-40%）
- ・ 成獣の自然死亡率は非常に低い

自然には減りにくい

エゾシカの生態≫エゾシカの食性

〔食性〕

- ・ エゾシカは反芻獣（胃が4つ）
- ・ 胃内の共生微生物が分解や発酵したものを利用
- ・ 餌資源の乏しい環境では、繊維質の多い餌や不嗜好性植物の分解に適応した微生物が共生

利用可能な餌（植物質）はほとんど摂食可能



〔行動〕

- ・「定住個体」⇒年間を通して越冬地にとどまる
- ・「移動個体」⇒夏と冬の行動圏を規則的に往復する個体
- ・越冬地（冬の行動圏）
 - ✓風雪を防げ、雪が少ない⇒常緑の針葉樹、南向き斜面
 - ✓冬の餌がある ⇒ササ等
 - ✓安全（撃たれない）⇒保護区等

母系の行動圏が継承（餌があり、安全な行動圏）

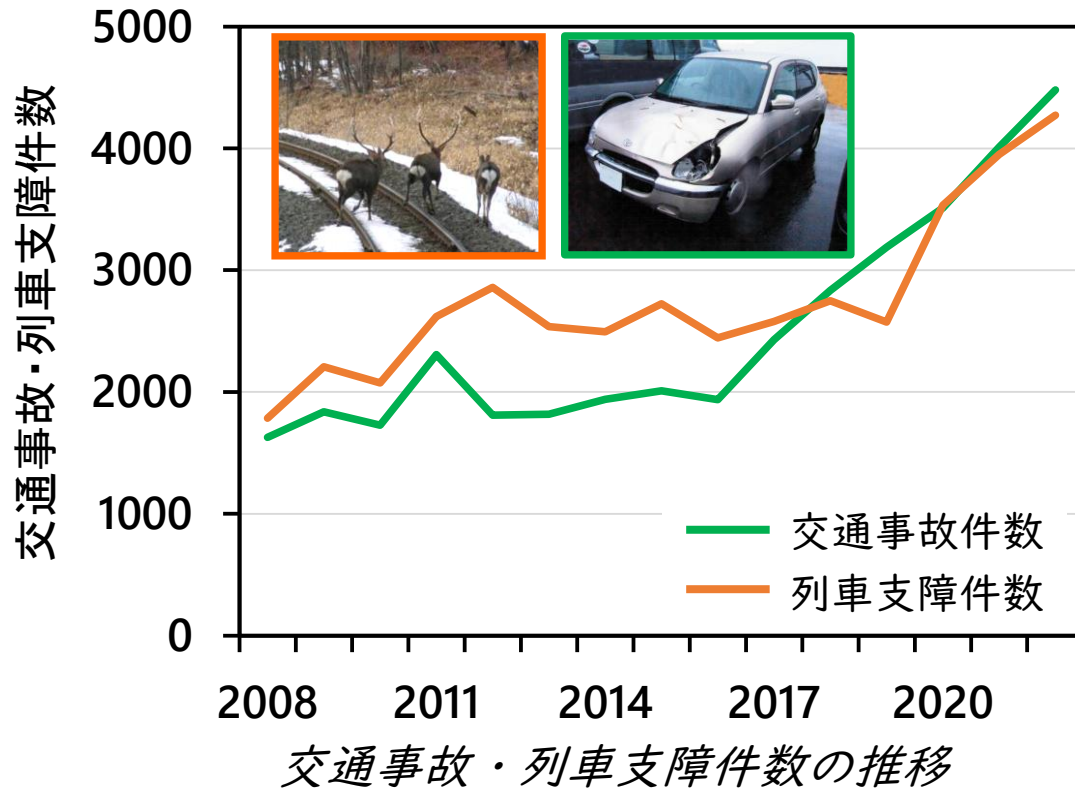
エゾシカは・・・

1. 高い繁殖率 ⇒ よく増える！
2. 低い死亡率 ⇒ しぶとい・・・
3. 幅広い食性 ⇒ なんでも食べる！
4. 良好な行動圏を選択
⇒ 餌多い、撃たれない所を選択

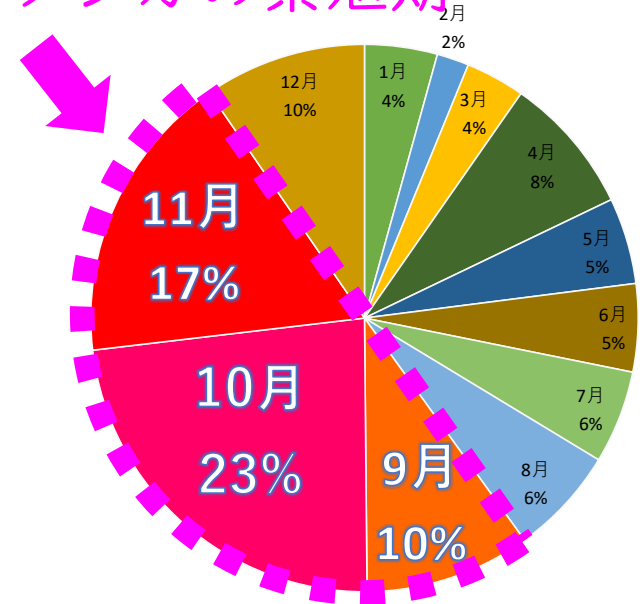
エゾシカは増えやすい動物

② エゾシカによる被害

エゾシカによる被害≫交通障害



エゾシカの繁殖期



エゾシカによる交通時事故
発生件数の月別構成率 (H27)

- ・ 両件数とも **最多件数を更新中** (4000件以上)
- ・ エゾシカの交通事故は **繁殖期 (9-11月)** に多発
⇒ 繁殖期はオスジカの **市街地への侵入も多発**



エゾシカによる被害≫生態系への影響

1. 木本類への被害



樹皮剥ぎ



稚樹・枝葉の食害

シカの食害によって
⇒ ・木本類が枯死
・稚樹が消失

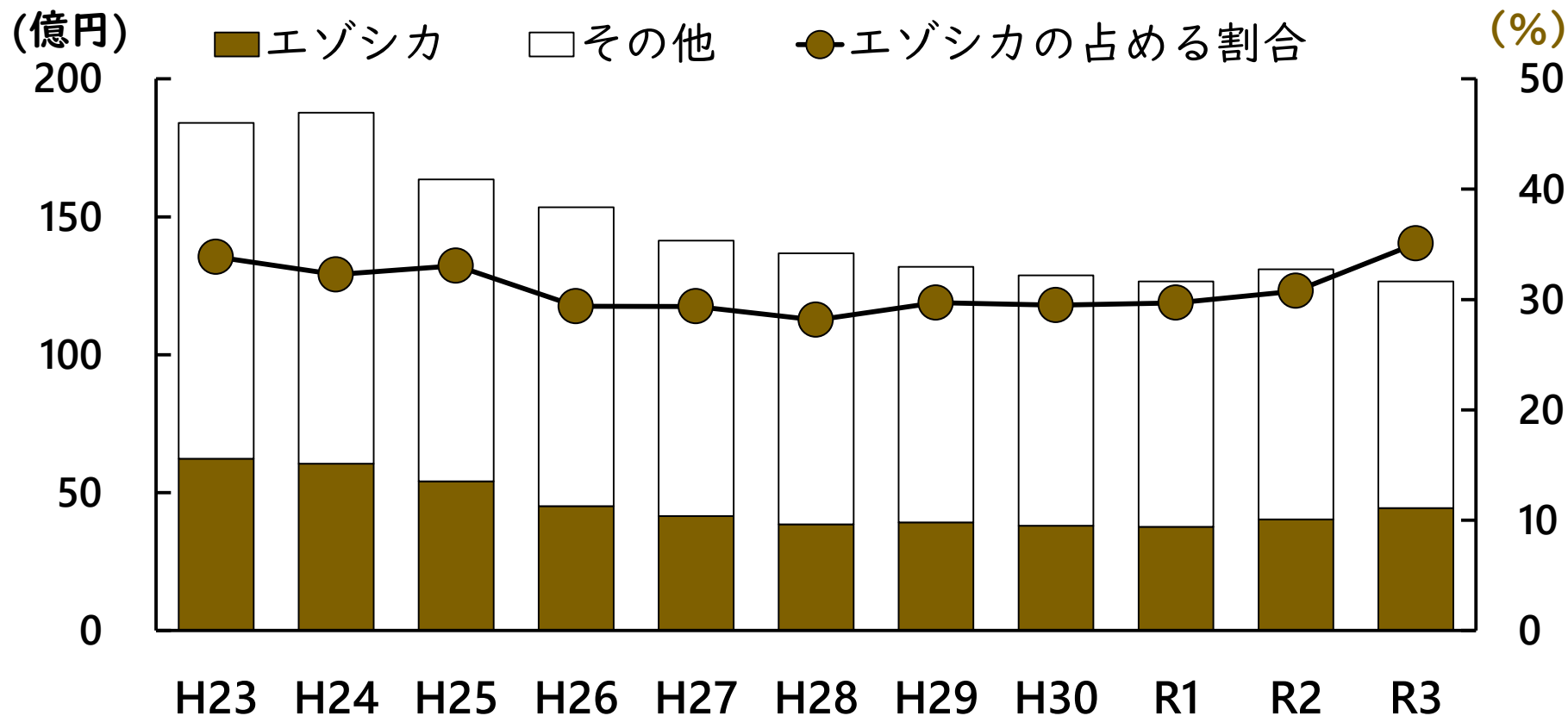
2. 草本類への被害



シカの食害によって
⇒柵の内外で
全く違う植生に!!



エゾシカによる被害≫エゾシカによる農作物被害

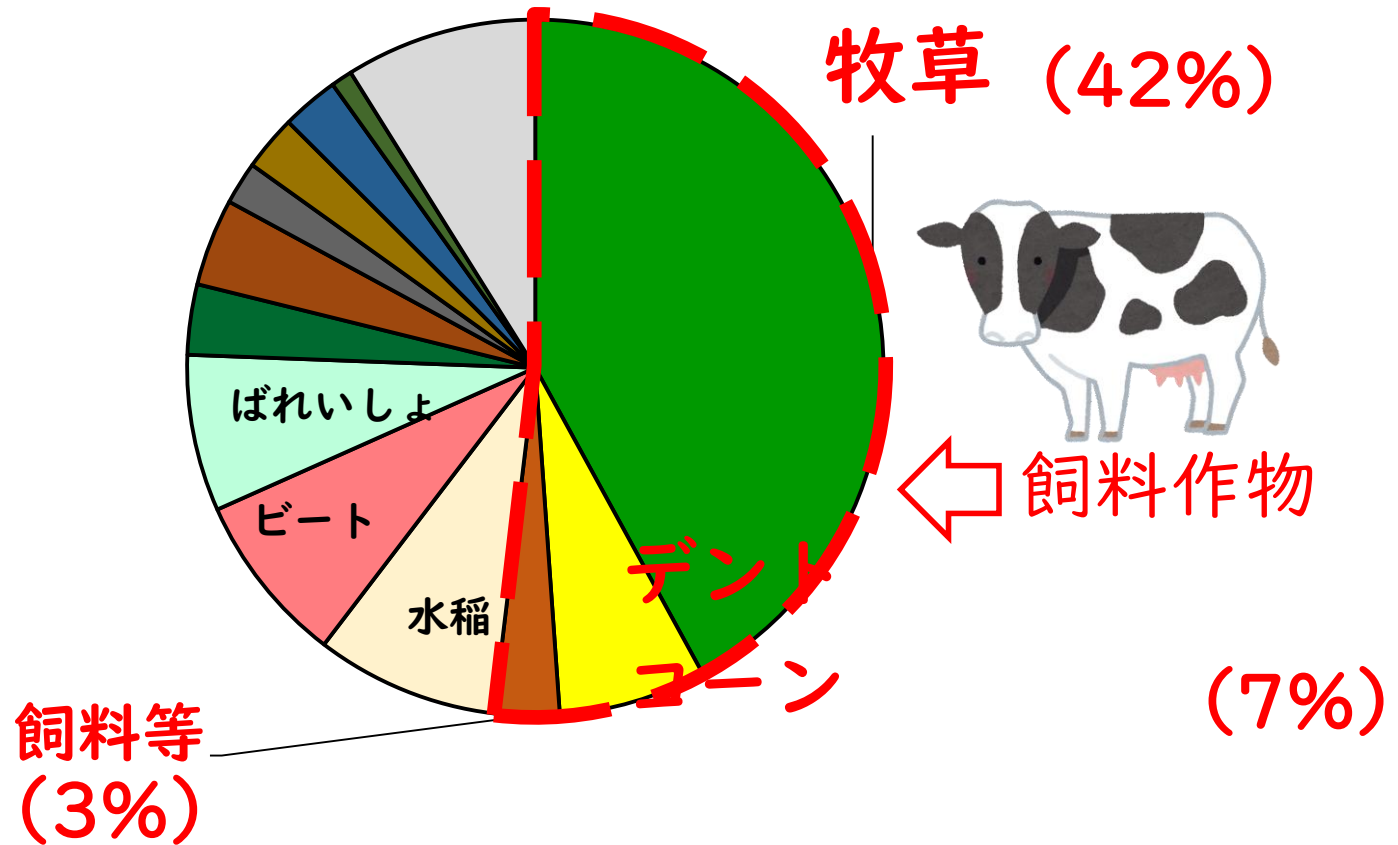


日本における野生獣類による農作物被害金額の推移

(農林水産省 2023を基に作図)

- ・ 近年はエゾシカによる農作物被害は約**40億円**で推移
- ・ 日本の獣類による農作物被害の約**30%** (44億円/127億円) はエゾシカによる被害

エゾシカによる被害≫エゾシカによる農作物被害



R3年度のエゾシカによる農作物被害内訳

(北海道 2023を基に作図)

- ・ エゾシカによる農作物被害の**約50%**は**飼料作物**
- ・ 日本の飼料作物被害全体の**約90%** (23億円/27億円) がエゾシカによる被害

エゾシカによる被害»エゾシカの市街地への出没



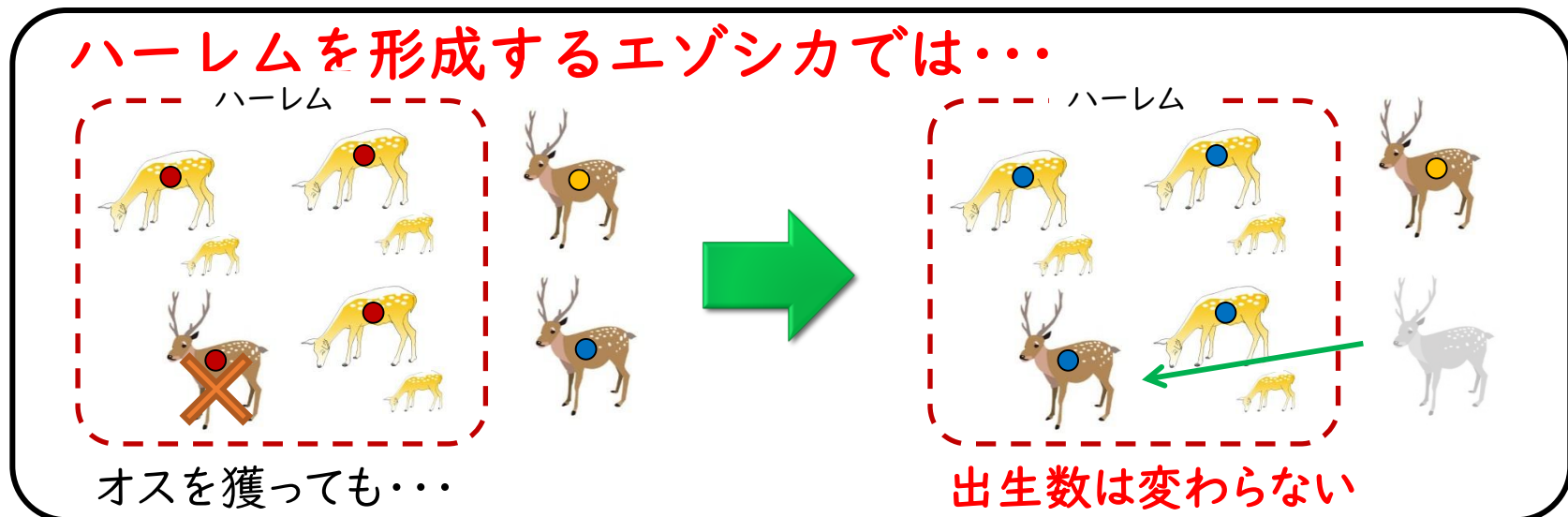
- ・ 近年、市街地に周年出没するシカ（アーバンディア）が各地で増加
 - ⇒ ・ 市街地での交通事故や人身事故の発生
 - ・ 家庭菜園等の食害、ダニ等の媒介
- ・ 捕獲及び防除対策が困難

③ 今後の課題

今後の課題≫増えすぎたエゾシカ対策（捕獲）

増えすぎたエゾシカ対策（捕獲）

1. 効率的な個体数管理が必要



➡ メスの優先的な捕獲が重要

2. 適正な有効活用の推進

⇒「効率的な捕獲手法」と「良質な肉を得る捕獲手法」は別物

➡ 持続的な捕獲のためには、
捕獲の目的と活用（処理）方法の調整が重要

今後の課題≫増えすぎたエゾシカ対策（防除）

増えすぎたエゾシカ対策（防除）

エゾシカによる飼料作物の食害

農業生産者⇒経済的被害

エゾシカ⇒・良質な餌（餌場）を大量供給
・個体数増加を促進



➡ 被害防止及び個体数増加抑制の為に対策は必須

広大な北海道の圃場
全てでエゾシカ対策？



⇒メリハリをつけた対策が現実的！！

今後の課題≫新たなエゾシカ対策の提案

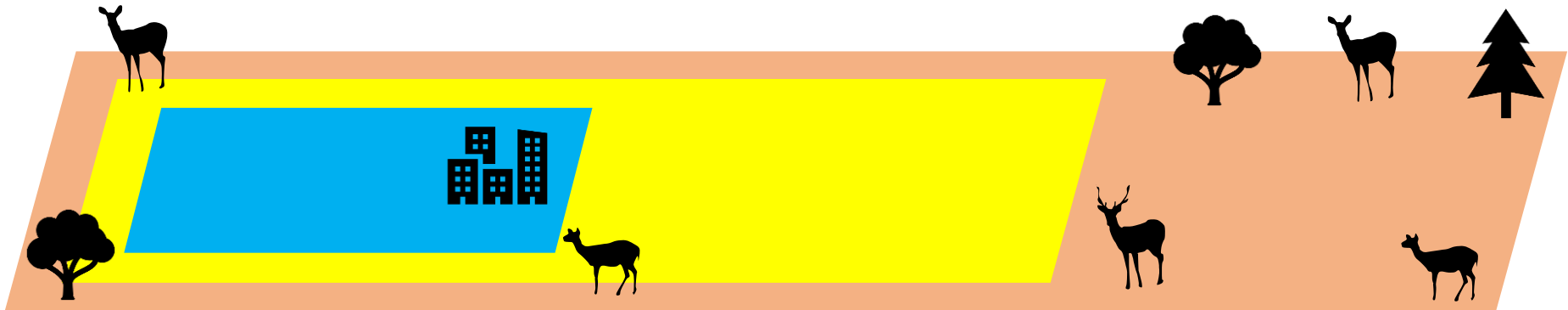
増えすぎたエゾシカ対策（防除）

⇒ **メリハリ**をつけたエゾシカ対策

厳格

被害に対する許容

寛容



今後の課題≫新たなエゾシカ対策の提案

増えすぎたエゾシカ対策（防除）

⇒ **メリハリ**をつけたエゾシカ対策

厳格

被害に対する許容

寛容

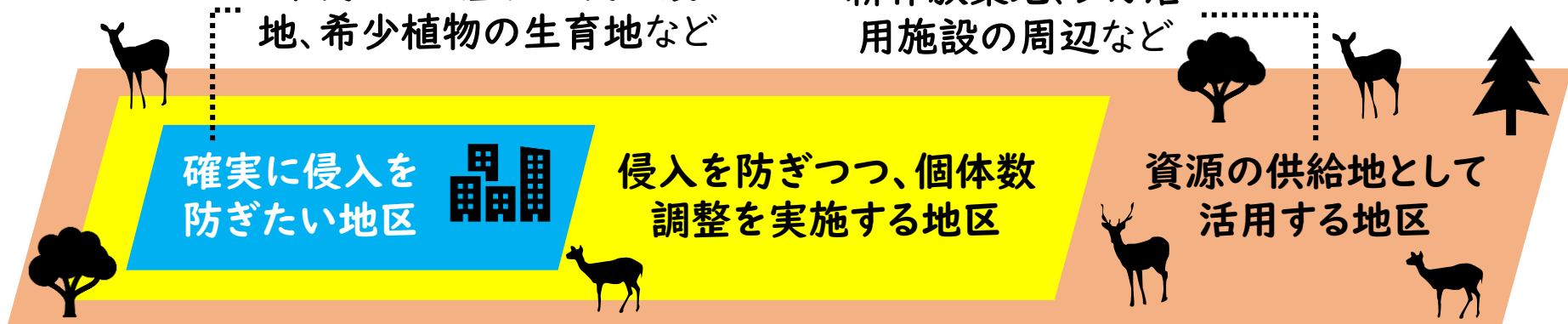
市街地、生産性の高い農地、希少植物の生育地など

耕作放棄地、シカ活用施設の周辺など

確実に侵入を防ぎたい地区

侵入を防ぎつつ、個体数調整を実施する地区

資源の供給地として活用する地区



今後の課題≫新たなエゾシカ対策の提案

増えすぎたエゾシカ対策（防除）

⇒ **メリハリ**をつけたエゾシカ対策

厳格

被害に対する許容

寛容

市街地、生産性の高い農地、希少植物の生育地など

耕作放棄地、シカ活用施設の周辺など

確実に侵入を防ぎたい地区



侵入を防ぎつつ、個体数調整を実施する地区

資源の供給地として活用する地区

個体数管理を
優先した捕獲を実施

今後の課題≫新たなエゾシカ対策の提案

増えすぎたエゾシカ対策（防除）

⇒ **メリハリ**をつけたエゾシカ対策

厳格

被害に対する許容

寛容

市街地、生産性の高い農地、希少植物の生育地など

耕作放棄地、シカ活用施設の周辺など

確実に侵入を防ぎたい地区



侵入を防ぎつつ、個体数調整を実施する地区

資源の供給地として活用する地区

(稲富 2024を改変)

個体数管理を
優先した捕獲を実施

有効活用も
目的とした捕獲を実施

ゾーニングによって対策にメリハリをつける必要あり